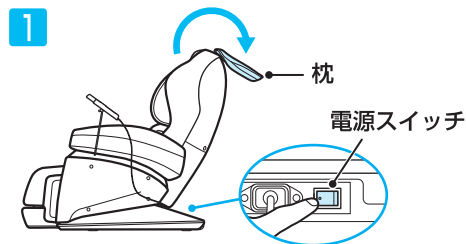






AS-2100 カンタン操作ガイド

1 本体後側の下部にある電源スイッチを「ON」にし、枕を後ろに回して座る。

2  を押す。

- リモコン画面にメニュー画面が表示されます。
- 背もたれ部 / 脚部が動作しスタンバイ位置になります。



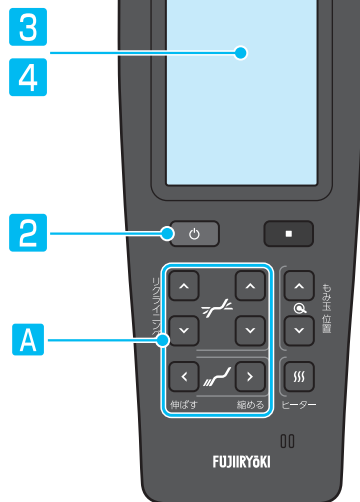
A さらに背もたれ部 / 脚部をお好みの位置に調節する場合は、リクライニングの   で調節してください。
脚部の長さは、伸ばす  ・縮める  で調節してください。

3 **30分専門** **全身** **ストレッチ** **首・肩** **腰** **クイック** からお好みのコースメニューを選択し、さらにお好みのコースを選択する。肩位置及び背筋ラインを検出するので、深く腰掛けて、頭を背もたれに付けるようにもたれる。

- 一部、背筋ライン及び肩位置を検出しないコースもあります。

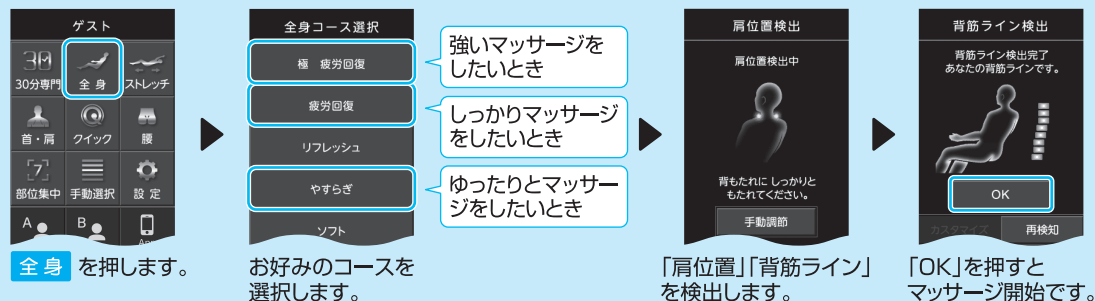
4 検出完了後、「スタート」を押すとマッサージを開始する。

- 「スタート」を押さなくても、約 10 秒後にはマッサージが始まります。



※画面はタッチパネルになっています。指で押して操作してください。

【オススメ】全身コースの選択のしかた



自動コース一覧

30分専門	全身	首・肩	腰	ストレッチ	その他
VIP ソムリエ ナイトヒーリング スローストレッチ エアリラクゼーション	極 疲労回復 疲労回復 リフレッシュ やすらぎ ソフト	極 疲労回復 疲労回復 リフレッシュ やすらぎ	極 疲労回復 疲労回復 リフレッシュ やすらぎ	極 全身ストレッチ 全身ストレッチ 全身エア	クイック (7分コース)

※自動コース中の細かな調節は裏面をご覧ください

自動コース動作中の調節

もみ技マッサージの強さを調節したいとき

「もみ玉強さ」の **←** で弱く、**→** で強く調節する。

- 強さを7段階から選択できます。

足裏ローラーの強さを調節したいとき

「足裏ローラー」の **←** で弱く、**→** で強く調節する。

- 強さ「1」のとき、さらに **←** を押すと「OFF」になります。

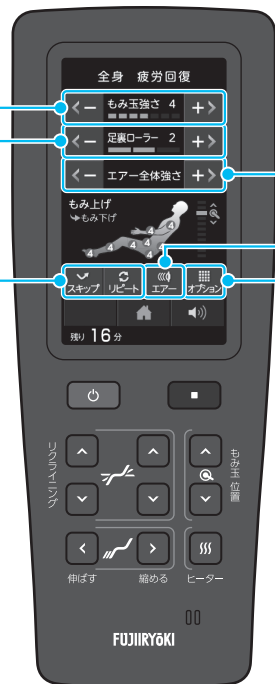
スキップ/リピートしたいとき

「スキップ」を押すと、今のもみ技から次に進む。

「リピート」を押すと、今のもみ技を繰り返す。

- リピートを押すと、今のもみ技をさらに約30秒間続けて行います。
- リピート中にスキップを押すとリピートは解除されます。

※自動コースの簡単操作については表面をご覧ください



※選択しているコースによって調節・設定できない項目があります。

エアマッサージの強さを調節したいとき

【全体を一括調節する場合】

「エア全体強さ」の **←** で弱く、**→** で強く調節する。

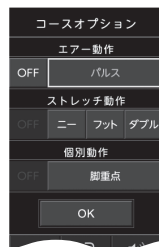
【部位別に調節する場合】

- ①「エア」を押す。
- ②部位別にお好みの強さを選擇する。
← で弱く、**→** で強く調節する。
- ③ **決定** を押す。



コースオプションを設定したいとき

- ①「オプション」を押す。
- ②「エア動作」「ストレッチ動作」「個別動作」から設定したい動作を選擇して押す。
- ③ **決定** を押す。



ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

⚠ 警告

- (1) 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。
破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- (2) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- (3) アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- (4) 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- (5) マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- (6) 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- (7) 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- (8) 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・プレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- (9) 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓〔そく〕栓〕症、重度の動脈りゅう（瘤）、急性静脈りゅう（瘤）、各種皮膚炎および皮膚感染症（皮下組織の炎症を含む）など）
- (10) 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師と相談のうえ、使用する。（詳しくは取扱説明書を参照）
- (11) お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (12) お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- (13) リクライニングするときは、必ず周囲（本体の後部、前部、側部、下部など）に人やペット、物がないことを確認する。
- (14) ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間触れるような使い方をしない。
- (15) 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。